

汎用的教育コンテンツ利用実績紹介フォーム

1. 利用情報

教育機関名	大阪大学大学院		
学部・学科名	情報科学研究科		
コース名・講座名等	IT社会基盤基礎論		
対象学年・受講者数	1	年次	30 名（講座等の履修登録者数を記載してください）
講座実施期間	2014年	4月	～ 2014年 8月
利用コンテンツ名 (該当口をプルダウンで■にしてください)	<input type="checkbox"/> プロジェクト型システム開発チーム演習教育コンテンツ		
	<input checked="" type="checkbox"/> パーソナルスキル(ロジカルシンキング)養成教育コンテンツ		
	<input type="checkbox"/> ソフトウェア開発技法実践的演習教育コンテンツ		
	<input type="checkbox"/> 情報セキュリティ実践的教育コンテンツ		
	<input type="checkbox"/> 「要求工学を活用した問題発見と情報システムによる解決」実践的教育コンテンツ		
コンテンツの利用形態 (該当口をプルダウンで■にし、必要事項をご記入ください)	1. 利用したコンテンツ		
	<input type="checkbox"/> ①シラバス	<input type="checkbox"/> ⑥テスト問題と解答例	
	<input type="checkbox"/> ②講義スライド	<input type="checkbox"/> ⑦ティーチングガイド	
	<input type="checkbox"/> ③講義ノート	<input type="checkbox"/> ⑧受講レポート	
	<input checked="" type="checkbox"/> ④演習課題	<input type="checkbox"/> ⑨ソースコード	
	<input type="checkbox"/> ⑤各種設計書		
	2. コンテンツの利用方法について		
	<input type="checkbox"/> 1. 教育コンテンツ全てをそのまま利用		
	<input type="checkbox"/> 2. 教育コンテンツの一部をそのまま利用		
	(利用 範囲)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 教育コンテンツを改変して利用		
	(改変 範囲)	ピラミッドストラクチャ演習課題: 問題文を利用し、解答例は変更して利用した。	
		

講座の全体構成(シラバス) ※単元ごとの学習項目、講義形態、コンテンツ利用の有無を記す			
	単元と時間配分(1コマ= 90 分で実施)	プルダウンで該当項目を選択してください	
	* 短期集中講座の場合は、日単位で結構です	講義形態 (座学、個人演習、チーム演習)	単元でのコンテンツ利用の有無
1	1章クラウドとは何か クラウドまでの歴史 クラウドコンピューティングとは何か	座学・個人演習	無
2	1章クラウドとは何か 仮想化とは何か クラウドがもたらすイノベーション	座学・個人演習・チーム演習	無
3	2章プロジェクトマネジメントと思考法(時間数:6コマ) プロジェクトマネジメントとは イノベーションに必要な思考法	座学・個人演習・チーム演習	無
4	2章プロジェクトマネジメントと思考法 発散的思考:クリエイティブシンキング	座学・個人演習	無
5	2章プロジェクトマネジメントと思考法 発散的思考:クリエイティブシンキング	座学・個人演習	無
6	2章プロジェクトマネジメントと思考法 収束的思考;ロジカルシンキング	座学・個人演習・チーム演習	無
7	2章プロジェクトマネジメントと思考法 収束的思考;ロジカルシンキング	座学・個人演習	有
8	2章プロジェクトマネジメントと思考法 収束的思考;ロジカルシンキング ビジネスモデル特許	座学・個人演習・チーム演習	無
9	3章プロジェクトを円滑に進めるための技術 ファシリテーションのレベル ファシリテーションスキルとは	座学・個人演習・チーム演習	無
10	3章プロジェクトを円滑に進めるための技術 グループとチームの違い 会議のためのファシリテーション	座学・個人演習・チーム演習	無
11	3章プロジェクトを円滑に進めるための技術 会議のためのファシリテーション ファシリテーションのためのツール	座学・個人演習・チーム演習	無
12	3章プロジェクトを円滑に進めるための技術 会議のためのファシリテーション ファシリテーションのためのツール	座学・個人演習・チーム演習	無
13	3章プロジェクトを円滑に進めるための技術 会議のためのファシリテーション ファシリテーションのためのツール	座学・個人演習・チーム演習	無
14	3章プロジェクトを円滑に進めるための技術 ファシリテーションのためのツール プロジェクトチームのためのファシリテーション	座学・個人演習・チーム演習	無
15	総合演習	チーム演習	無
特記事項	※チーム演習を行うため最小開催人数を5名としている。		

コンテンツ利用の狙い・目的	ピラミッドストラクチャの演習課題として
講座の位置づけ 学生の履修前提条件	基礎セミナーであり、特に前提知識を必要としていない。
授業の進め方	講義と診断テスト、個人演習、チーム演習で構成し、学習した内容を診断テストや演習で確認するスタイルで実施した。 ※グループワーク用機材 模造紙・ポストイット・白板・マグネット・名札・チームごとの行動を記録するためのVTRカメラ
産学連携で実施した場合の 企業支援内容 (該当の場合のみ)	なし

2. 講座実施後の情報

受講者の感想 (本講座で得られたもの)	親に大学の授業ってどんなの？と聞かれたので、クラウドについて説明したらすごく感心していました。あと単語がいちいちかっこ良くて良いです。知ったこと、学んだことが多く、将来に役立つ講義で大変満足！ ファシリテーションという言葉自体の意味も分かっていなかった僕が、授業の演習を繰り返していくうちに、こうすれば積極的傾聴できるということが分かってきて、やっていた何か楽しかったです。普通の授業では経験できないことができて良かった。毎回刺激的だった。人生で初めてのタイプの授業でした。
教員の評価	演習課題作成時のヒントを得られた。
今後の展望 (継続に向けた課題)	※プロジェクトは今年度で終了する。課題などは特に無。

その他(ご意見等)	
-----------	--